

多摩のくらし～歳時記

～節分～

節分は、2月3、4日頃の立春の前日を称し、大寒の終わる日を言います。立春は太陽暦的要素に基づく年の始めという性格を持っているため「年越し、年取り、節変わり」などと呼ぶ地方もあるようです。

節分の豆まきは、災いを象徴する鬼を豆で打って払う行事と考えられています。豆を一升枀に入れて神棚に供えておき、夕方に神棚から下ろして、一家の主人などが「鬼は外、福は内」と大声で唱えながら、豆を家の出入口や各部屋にまきます。まき終わると、それぞれ自分の年齢の数だけ豆を食べます。それを年豆といい、これを食べると息災で一年を過ごせると言われています。残りの豆は枀に置いておき、一番雷がなったときに食べるという風習が神奈川県にはあるそうです。地域によっては福豆といって、お茶の中に年の数の豆を入れ、皆で一年間の計画など語りながら、楽しく食べたりする所もあるようです。狂言にも、節分の夜、鬼に口説かれた女が鬼をだまして、蓑や打ち出の小槌などを奪い、そのあげく「鬼は外」と豆をまいて追い出してしまおうという一節があります。

またこの日、イワシの頭をヒイラギの小枝に刺して、戸口や家の出入りする所に立て、炒豆をまいて悪疫退散、招福の行事を行う風習もあります。なお、イワシの頭を外し、残りは家主や男子が食べるといひます。

(川口)



編集後記

多摩区まちづくり協議会の会議や研修の運営、広報誌の編集などをお手伝いさせていただいています。先日同行した「他都市まちづくり事例視察研修」は、練馬区と三鷹市のまちづくり現場を深く学べる、とても良い機会でした。まちづくりや日常生活のヒントが詰まった種々のイベントに、より多くの区民の皆さまに参加いただければ幸いです！(コンサル・加藤)

「まち協のホームページ」リニューアル!!



多摩区まちづくり協議会では、情報伝達の多様化に 대응するために、ホームページをリニューアルしました。

今後はこのホームページ上で、多摩★まち大学などのイベント情報や各プロジェクトの活動状況を、タイムリーにより多くの皆さまにお伝えしていきます。さらに、各プロジェクトによるブログは、日常活動を身近に感じいただけるものと確信しております。

まちづくりを知るきっかけとして活用していただければ幸いです。ぜひ下記サイトにアクセスしてみてください!

新 URL <http://tamaku-machikyo.com>

まちづくりカレンダー

「活かせー川崎の地域力」
「深めよう、人と人とのつながりを」

※皆々手からお待ちいただいた情報を掲載します

かわさき自治推進フォーラム2012を開催します。川崎フロンターレクラブ特命大使の中西哲生さんの講演やパネルディスカッション、区民会議交流会を通して、川崎の持つ地域の力や人々とのつながりについて考えます。入場無料、事前申込不要。/手話通訳、保育サービスを希望される方は、電話またはFAXで申込。1月16日(月)必着(申し込み先着順)。

【日時】1月29日(日)午後1時～午後5時半
【場所】高津市民館
【問い合わせ】総合企画局自治政策部
電話 2000-2168 FAX 2000-3800

多摩区まちづくり協議会へのご意見・ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2011年 (平成23年) 12月

34号

多摩★まち大学

多摩区まちづくり協議会では、市民活動に役立つ技術習得や学習の機会を提供するため、今年度より多摩★まち大学をスタートさせました。おかげさまで「車座勉強会：安心して歳を重ねるために」「IT学習会：中級編」「IT学習会：超初級編」それぞれの講座とも好評でした。

まちづくりは、いかに多くの区民の方々に参加していただけるかが課題です。その意味では多摩★まち大学は、まちづくりの最も効果的な役割の一つと考えられます。今後も区民の皆さまのニーズや時宜にかなうテーマを見出し開催して参りますので、ぜひご参加ください。

大反響!



視察研修の最後に訪れた山本有三記念館にて

多摩★まち大学・最近の講座

1・2面掲載	他都市まちづくり事例視察研修
3面掲載	車座勉強会 安心して歳を重ねるために
2面掲載	IT学習会中級編 「市民活動に役立つインターネット」
2面掲載	IT学習会超初級編 「メールとインターネットとは」

多摩★まち大学 他都市まちづくり事例視察研修

11月9日、多摩★まち大学の研修の一環として、練馬区まちづくりセンターと三鷹市市民協働センターを訪ねました。

両センターとも住民の声に耳を傾ける総合的な中間支援組織としてシステムが確立されていました。多摩区まちづくり協議会の場合、あくまで身近な問題を解決するためのプロジェクト活動が主体となりますが、参加を呼びかけるアイデアや指導者の発掘の方法など、学ぶべきところが多々ありました。

日頃、まちづくりとは何か、何から始めればいいのか分からない区民の方々も少なくないと思われます。一人でも気軽に参加できる多摩★まち大学の講座を通じて、まちを知り、知らない人との交流ができるきっかけの場を提供できればと思います。(大久保 正視)

多摩区まちづくりを知る活動発表会 まちカツ!

2/11 (土) 13:00~16:30

展示団体・市民活動情報を募集!

まちカツ!期間中、多摩区役所1階アトリウムで、市民活動紹介コーナーを設けます。この紹介コーナーで、展示したい団体を募集します。ちょっとしたチラシからポスターなど、日頃の活動を「まちカツ!」でアピールしてみませんか。

※全てのお申し込み・お問い合わせは区役所地域振興課まで

まちカツ!

2/11

開催します!

詳細は4面をご覧ください

練馬・三鷹のまちづくりの現場を訪ねて



市民活動者とボランティアのための

IT学習会・中級編 / 超初級編

PJ まちづくりネットワーク応援隊



「練馬まちづくりセンター」で学んだこと

練馬区を中心街にある建物の1つに、「練馬まちづくりセンター」がまちづくりの拠点として入っています。そこでは専門スタッフによる活動支援や講座開催などを行っている聞き、「うらやましい」というのが第一印象でした。「都市計画マスタープラン」に基づいたまちづくりセンターの理念・機能・事業が明確に示されているので、区民にとってもセンターとの関わり方がつかみやすいのではないかと感じました。(久野 道子)

「三鷹市市民協働センター」で学んだこと

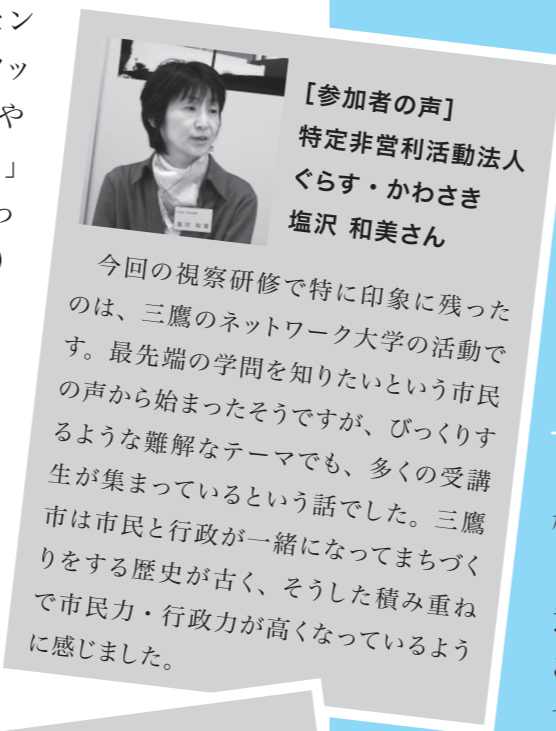
「三鷹市市民協働センター」は、市民と行政との中立的拠点として設立されました。施設は「NPO法人みたか市民協働ネットワーク」が運営しています。

センターの事務局長は、市からの出向で行政とのパイプ役になり、市民からは市職員としての安心感もあるようです。登録団体はさまざまな設備が利用でき、登録していなくてもボランティアならコピー機、印刷機などが自由に使えます。無料のスペースや時間貸しの会議室などもあり、多摩区にもこんな施設があったら良いなと感じました。(古川 紀代子)



「三鷹ネットワーク大学」で学んだこと

地域の知的資源とニーズを融合し、産学民公の協働による新しい「地域大学」を目指している「三鷹ネットワーク大学」では、事務局の大朝さんや森さんから大学の運営や講座の選定、実際の苦労話をお聞きしました。地域の特性を生かした天文学や、企業による無料ビジネス講座などで、年間受講者数は9,200人を超えるそうです。私たちまち協の「多摩★まち大学」を今後どのように取り組んでいくか考える上でも、大いに参考になりました。(本多 正典)



【参加者の声】
特定非営利活動法人
ぐらす・かわさき
塩沢 和美さん

今回の視察研修で特に印象に残ったのは、三鷹のネットワーク大学の活動です。最先端の学問を知りたいという市民の声から始まったそうですが、びっくりするような難解なテーマでも、多くの受講生が集まっているという話でした。三鷹市は市民と行政が一緒になってまちづくりをする歴史が古く、そうした積み重ねで市民力・行政力が高くなっているように感じました。

【参加者の声】参加女性

緑が多く残る、美しい地域環境が多摩区と良く似ている練馬区の取り組みは印象的でした。豊かな地域社会の実現を目指して、中間支援的な協働型まちづくり事業を実践している練馬まちづくりセンターの石川所長から、まちづくりに関する幅広い内容について学ぶことができ、今後の活動に大いに参考になりました。

11/23(水)

中級編「ホームページで情報発信」

「株式会社世田谷社」の市川徹さんを講師に迎え、参加者は21名でした。インターネット上に、無料で簡単にできるホームページ作りを見せていただき、参加者から「早速ボランティア活動に生かします。」という感想をいただきました。

市川さんの講義はとても分かりやすかったので、またIT学習会を開催するときは、講師をお願いしたいと思います。(池田 倫子)



中級編の講座風景

12/5(月)

超初級編「メールとインターネットとは」

超初級編では、講師として、「のぼりとゆうえん隊」の野仲将生さん、櫻井博朗さんをお招きし、20名近くの方々の参加がありました。

パソコンの知識のほとんどない参加者が多かったこともあり、大変有意義なIT学習会となりました。こういった交流の場をより多く作り、あらゆる世代の人に役立つ活動ができるよう、深めていくことが大切だと実感しました。(岡田 委久子)



右:講師の野仲将生さん
左:講師の櫻井博朗さん

プロジェクト活動進行中!

現在活動している3つのプロジェクトの直近の活動報告をします。

多摩の居場所ふらっと



10、11、12月は「ふらっと」の活動が最も活発な時期でした。若い世代とシニア世代をつなぐ橋渡しをしながら、「楽しい場づくりをしよう」という目的が少しずつ実を結びつつあるようです。



乳幼児もホットケーキづくり!

すかいぎつや菅こども文化センターでの乳幼児をもつ親とのお菓子づくり、シニア世代向けの「生活習慣病(がん)の予防と治療」勉強会、そしてわくわくプラザの小学生とクリスマスツリーづくりに熱中しました。参加された若いお母さんから「この子と二人きりで一日中家に居ることが多いが、今日は大勢の中に入れて楽しかった。同世代のお母さん、子育てを経験された方とお話ができよかった。」との感想をもらいました。

まちづくりネットワーク応援隊



11月に中級編、12月に超初級編とレベルに応じて開催したIT学習会が、参加者には好評で、ぜひシリーズで続けてほしいという声を多くいただきました。さっそく次回の企画を練っています。お楽しみに!

多摩区の観光資源・地産地消のマップづくり



今年発行した「多摩農マップ」は、区役所はじめ、夏祭りや多摩川梨のイベントなど、区内外のさまざまな場所で配布し、大変なご好評をいただきました。現在は、掲載している写真や紹介している情報を見直した「農マップ」第2版の編集を進めています。また、まち協ホームページの開設に合わせて、「農マップ」を掲載する予定です。

多摩★まち大学 車座勉強会

安心して歳を重ねるために PJ 多摩の居場所ふらっと

身近な生活習慣病である、がんについて学ぶ

「生活習慣病(がん)の予防と治療」について、開業医でもある国保先生にお話をいただきました。食生活として玄米菜食を基本にし、抗酸化作用を有する食品(果物きのこ海藻など)を摂取することにより、がんの発生を抑えることが出来るということでした。参加者は身近な問題に熱心に聞き入り、「現医療に欠けているところをよくお話していただき、分かりやすかった。」と大変好評でした。(本多 正典)

【参加者の声】

がんの予防のみならず、日々の生活を元気に過ごすための示唆に富むお話を伺いました。「好きなことをして、ストレスをためない。玄米菜食の食生活の重要性」を、参加者のどんな質問にも気さくに答えてくださった講師の国保先生から教えていただきました。



講師の国保久光さん